第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

前回計画の「手をつなぎ 笑顔あふれる 地域を育てよう おおいずみ」をベースに、人口減少や、アンケートからみえる地域とのつながりの希薄化、懇談会で挙げられた住民が地域活動に積極的に参加するためのアイデアなどからうかがえる「地域により多くの人がかかわっていく」ことを「みんなで」に込め、既存の取り組みを拡大しながら、これまで以上の地域のつながりを広げていくことを「広げる笑顔の輪」に込め、本計画の基本理念を以下のものにしました。

■計画の基本理念

みんなで手をつなぎ、広げる笑顔の輪 おおいずみ



2 基本目標

基本目標1 みんなでつくる福祉の"はぐくみ"

地域に住むすべての住民が、福祉はすべての人にかかわる問題であるという認識を深め、地域福祉の担い手として活躍できる地域を目指します。

そのため、子どもから大人まで、幅広い層に対して福祉意識の醸成に努めるとともに、リーダーやコーディネーターなど、地域で中心となって活躍できる人材の育成や活用を推進します。

基本目標2 みんなで広げる地域の"つながり"

今の地域でのつながりを大切にし、地域で助けあい、支えあい、あらゆる住民が地域でふれあい、交流することができるよう、地域活動の場や機会の提供に努めるとともに、各種活動が活発化するよう支援します。

また、地域の関係組織との連携を充実し、福祉ネットワークの形成を図るなど、地域福祉推進体制の強化に努めます。

基本目標3 みんなで支えあって生まれる"ぬくもり"

町民一人ひとりが主体的かつ適切に福祉サービスを利用することができるよう、十分なサービス基盤を整備するとともに、利用者の視点に立った情報提供体制・相談支援体制の充実や利用者の権利を保護する制度の普及を図ります。また、さまざまな団体等による地域での支えあいの仕組みを構築します。

基本目標4 みんなが安全で安心できるまちの"やすらぎ"

誰もが住み慣れた地域で、安全・安心に暮らし続けられるよう、緊急時を見据えた防災体制の強化を図るとともに、防犯対策の推進による町民の防災・防犯に対する意識の醸成と地域全体の安全・安心の確保に努めます。

さらに、高齢者や障害者をはじめ、すべての人が安全で快適な生活が送れるよう、ユニバー サルデザインのまちづくりを推進します。

基本 理念	基本目標	取り組み
みんなで手をつなぎ、広げる笑顔の輪 おおいずみ	1 みんなでつくる福祉の "はぐくみ"	1 地域福祉を進めるための意識づくり・健康づくり (1)学校や地域における福祉教育の充実 (2)広報・啓発活動の充実 (3)健康で活気のある地域づくり 2 地域を引っ張る人材づくり (1)地域活動・ボランティアの人材やリーダーの育成 (2)ボランティア団体などと担い手をつなぐ仕組みづくり
	2 みんなで広げる地域の "つながり"	 地域でのふれあい、交流の場づくり (1)世代等を超えた交流の推進 (2)地域での交流活動の推進 地域活動やボランティア活動などの活性化 (1)地域活動やボランティア活動への支援 (2)地域活動組織の活性化 地域活動組織の活性化 地域福祉のネットワークづくり (1)多様な活動をつなぐネットワークづくり (2)社会福祉協議会・地区社会福祉協議会の活動の充実
	3 みんなで支えあって 生まれる"ぬくもり"	1 福祉サービスの充実 (1) 福祉サービスの推進 (2) 権利擁護の推進 2 相談支援・情報提供の充実 (1) 総合的な相談支援体制の充実 (2) 情報提供体制の充実 (1) 地域での支えあい助けあいの仕組みづくり (1) 地域での支えあいの関係づくり (2) 見守り体制の充実
	4 みんなが安全で安心できる まちの"やすらぎ"	 1 防災体制の充実 (1) 災害時における地域防災体制づくり (2) 災害時要配慮者等の避難支援体制づくり 2 暮らしやすい生活環境の充実 (1) 地域で取り組む防犯体制づくり (2) 快適に暮らせる環境づくり (3) 外出しやすいまちづくりの推進